

20/10/11 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣・埋蔵文化財部会(第38回)

(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

10:00

鈴木保存整備室長:はじめる

佐治所長からあいさつ

佐治所長:休日に参加いただきありがとうございます。

台風心配したが開催できた。

頻度が高い 申し訳ない

現天守閣解体 局長から今年中に目処

来年度予算をつけたい

9/25 全体整備検討会議伝えた

文化庁伝えたら「4月に計画してるなら、有識者逆算して」

本丸搦手一区切りつけたい、御深井丸 意見欲しい

鈴木室長:日程調整 終われるようやりたい

出席者紹介

報道は写真ビデオここまで

北垣:議題3つ 報告1つ

名古屋城:本丸搦手説明

名古屋城:斜路状遺構・平坦面

変状を起こしたメカニズムについて説明

説明は以上

10:19

北垣:資料1-1 1-2

これに基づいて説明

だいたいご理解いただけただか？

宮武:ずいぶん速度感があがった

難問ばかり

黄色が主課題

もう一回黄色に 暗渠復元、水勾配、水路の施工

馬出し全体を3次元的に復元しないと

全部網羅して、暗渠逆流しないのか

そこがほしい 実際復元図書けないと

逆石 硬化面 水が浸ってる 石にどういう悪影響を与えるか

西形:硬化面？以前の盛り土の跡

天和の盛り土の劣化が原因だろう

どちらか主要因か？初期は水 大きな変形の原因は前の石ではないか

表面水进行处理して対応する

従属的な取り扱い

宮武:遺構として残すか

ブルー、灰色が硬化面

名古屋城:そう

宮武:斜路状遺構なら遺構

事務局も混乱してる

鼠色の土はなにか？

めくると明るい褐色の土

残したいのはやまやま

構築者 必要として作れば遺構

石を搬入するときに一時的なもの 遺構と言えるかどうか

工事工程上のものが残ったのか？

副次的な要因 このままにして大丈夫か

西形:表面水をカットできれば、硬化面自体が悪さはしない

宮武:上で水をカットできれば

梶原:この部分のみ青い
後に変色したのか、青い土を入れたのか

宮武:たまたま青くなったように見えた
意図して搬入したのか？

名古屋城:平成 25 年度調査結果
担当者がいない
搬入土も考えられる
他のところで盛り土の下から包含層 無酸素状態で還元？
そうなのかはすぐには答えられない

宮武:現状で残しても深刻な影響を与えない
遺構かどうかもわからない
残しておいて、再評価することになるか
二段目 背面から検出された石材
レベルは一緒か？

名古屋城:平成 30 年度
これ 25 年度 同じ高さか確認してない

宮武:わからない それが重要

名古屋城:平成 22 年 同じ高さ

宮武:正体はそこを見ないと

石垣面に深刻な影響を与えるか？

並んでるかどうか重要

どっちもありえる

境目に大石を置きがち

硬化面のように判断つかないから戻しておこうか？になる

櫓台 1-6

南面は石垣がないのか？

名古屋城:ここまで栗 下は盛り土

宮武:上の土層説明とあっていないとだめ

分析はどうなってるか？

明治、大正、昭和の積み出し

立面とあわせて乱れてる

特別史跡 どこまで戻すのか

1-7 部会で議論したことがあるのか？傷んでるのを差し替えるか？

名古屋城:昨年度再利用判定の時にやった

宮武:櫓台単体では復元できるのか

名古屋城:できてる

土層 南北と東西が混じっている

宮武:事前郵送資料でそのミスは困る

病気判定 別の血液結果を見せられたよう

逆石 資料 2 前回事前検討会 和田頭領 石工 コンサルもいた 共有できてない

資料 1-13 石工 慶長→天和 一番上の列だけ怪しい

慶長の上の列だけ動かしたという仮説が出た

1-10 上から下までオリジナルではない？

一旦吊って下を見ないといけないという意見 反映されてないのはなぜか？

名古屋城:今年度 1-19 で反映したつもり

逆石調査

宮武:明記して

単純な話ではなく

逆石を置きやすくするために慶長の石を置き直した？

逆石取り外すと、載せられなくなってしまう

村木副センター長:慶長は基本的に動かさないという方針だった

先生の意見を今後反映したい

宮武:それは議論がちがう。動かしたら慶長の石垣ではない

村木:検討したい

西形:下が影響している可能性がある

栗 粘性土まじり礫

出発点が違うことも

宮武:1-8 土層は今の部分か？違うの？

名古屋城:そう

宮武:紙の資料 総栗とは言えない
土が詰まってる
あっては困るものがぐちゃぐちゃ入ってる
もともとのものにするのか、健全な栗オンリーにするのか
前の担当に聞くか、協力をえるか

名古屋城:承知した

北垣:宮武委員から、資料 1-1 説明と回答
さらに検討していくことが多い
もう一度再チェックして次に整えて
資料 1-2 できてない
11時 第一項
検討されてない
二の方も 1 を斟酌して

宮武:勾配については

北垣:勾配は話はあるが、1-16 38 宝暦の修理図 現在合わない
文献班 勾配の取り方 慶長の石垣と変わってる
どう活用するか
検討されてるか
次回使える形になるように

鈴木室長:積み残し数点 勾配の取り方 次回までまとめる

北垣:委員の方よろしいか

宮武:慶長石垣の図 そのままは難しい
38 ある程度できる
天端の置き方
東面と北面同じはどうか
北面はモデルで選んで、次課題でやれる

北垣:北面と東面は違う
基準勾配を検討して
これで1番目の議題は終わり
10分程度休憩

鈴木室長:11:10から
11:04

11:12
鈴木室長:座長お願い

北垣:御深井丸地下遺構

名古屋城:進捗
2-1
ア 全体整備検討会議
イ 今回
ウ 了承済み
エ 了承

村木:まず御深井丸調査を説明してから
一昨年度 地下把握してない→せずに文化庁に現状変更申請した 文化庁「調査すべき」

2-4

名城公園から栈橋をかけて構台をつくる

礎石 この位置で展示を将来的にしたい

小さなトレンチで地下遺構把握したい

w 細長いトレンチ 石垣が崩れて積み直した

絵図検討してる

名古屋城:2-5.2-6

村木:9/25 全体整備検討会議で説明した

2メートル角ではなく、溝状がよい

31箇所掘りすぎ

調査区の設定見直した

来場者の通路、樹木、電気設備

どうしても数が多くなる

全体的に満遍なく調査すべき→溝状は難しい

面積 2メートルから拡張して

近世の遺構面が把握できるのか？過去のトレンチも参考にして

今回も全体整備検討会議のまま

赤羽委員に意見をいただいた

「アスファルト舗装部分に亀裂が観察できる。石垣にもあるのか。

礎石 架設の構台置くのなら礎石を毀損しないように。

調査に伴う現状変更はご理解いただいたと思う。

名古屋市の見解を聞いておきたい。」

先生のご議論を踏まえて

北垣:多岐にわたる意見

宮武:毎回私ばかり

絵図で判定 金城御こ録

これでふさわしいか

村木:cgk 可能性がある
トレンチの位置が動かみにくい
現実的にはここしかない

宮武:逆 遺構がないところ掘っても当たらない
文献で存在 トレンチに入れないと
城郭 長く掘らないとだめ
文化庁もなかなか厳しい
掘る以上何を出すか
天端より、何を期待しているのか
赤羽 クラック
掘ると水 不健全なら掘らない方がよい
水道の位置を確認するのか、単純にこうなのか
後者ならいらない
小天守横の電気施設どけないか
土層 2-3メートルくらいある 安全上問題？
横の施設がないと楽
相当の壁になる
オフィシャルではないが、礎石の上に構台置かないといけないのか？
石室移転したものがある
古墳 下敷きになるのか？
議論になかった

村木:目的 どのような遺構があるのか
全体として、遺構面の高さ
沈下量の計算
全体について満遍なく調査区を入れる
文献 a-d 現実的には難しい
水道 何らか細長いトレンチ 順序が逆
今回は掘れるところでトレンチを設定した
小天守西 キュービクルがある
遺構面まで掘り下げることが意図していない
深さで確認できなければ終わり
礎石 工事計画 礎石を埋めて構台→礎石を外して基礎

石室 外れてるためそのまま

宮武:何点か不思議
遺構がないところトレンチ 文化庁が認めるか
あと何センチかわからないがトレンチ?
礎石 トレンチ入れる必要があるのか?

名古屋城:礎石と礎石の間にコンクリート
礎石には荷重あたらない

宮武:そもそもここに礎石がなくてもいい
見下ろせる場所に礎石→誰も見ない
当面の施工 適宜なところに移転しては
現計画の見直しも含めて
礎石自体の活用も

北垣:二の丸地区発掘調査
城内カルテ
核心に迫る、気にかかる問題

梶原:図面の遺構 かかる荷重を考えて それもありなのでは?
掘りすぎではないか
地下遺構毀損をしないため調査
調査をしなければより毀損の可能性

西形:二の丸
クラック 石垣が連続している可能性
できる範囲で対策が必要になるのでは
堤防 クラックが入る→砂を流し込む

北垣:大事な指摘

課題はあるが進めていただく

一歩ずつ前に進んでいく

3点目 二の丸地区発掘調査について

11:48

名古屋城:3-1

二の丸地区発掘調査について

調査研究センター佐藤:3-3

3-4 3-7

名古屋城:赤羽委員から意見

「1 国庫補助 未告示地区 説明できるように。

2 県立体育館がなくなったあと調査したほうがよいのでは。

3 戦後の変遷をまとめて」

1 県からよいとコメント

2.3 航空写真

2 まず調査する

11:56

北垣:二の丸御殿 どうするか位置付けては

二の丸調査方針 結構なことではないか

梶原:赤羽先生のおっしゃったとおり

1 調査面積はともかく調査箇所が多い 負担が多い

2 名古屋大学の遺構が出ると嬉しい

3-6 近代の遺構と重なるところか、重ならないところを掘ったらよいのか

宮武:資料 3-1 ほっとした

法制的 理解できてない
99条の1でいける
ゴールを見せてない
追加指定していく
文化庁 認識している
体育館のために漏れたのか、地べた
担当調査官に見てもらった方が
体育館の撤去 開発行為を挟む
もう一回 支障がでる
国庫補助事業 足並み揃えて
トレンチ入れ方
馬場 弘前城 杵築城 非常に稀
報告いいのが出たばかり

北垣:二の丸地区 進行形 課題処理なさることがある
12:02 報告事項 城内カルテ

村木:あとの2つ
ご審議を踏まえて全体整備検討会議を踏まえて現状変更申請をさせていただく
石垣カルテ 報告
令和7年まで
天守台周辺 概括調査
2種類のカルテ整理が必要
資料4参照
全体石垣カルテ 3月石垣部会で説明した
4-6 から 4-8
一例 中身について議論する時間はない
すでに作成してる
4-5
2種類が並存が望ましいとは考えてない
令和7年度までで文化庁に申請

北垣:鋭意進めていただく

宮武:特別史跡 三の丸掘も入ってる
櫓台石垣は？

村木:全部やりたい
三の丸も計画している

宮武:漏れてないか心配だった

北垣:終わった

鈴木室長:貴重な意見ありがとう
副所長から確認 全体整備検討会議で
搦手石垣 検討が行き届いてない
再度資料を作って諮りたい
以上で終わり ありがとう
12:10